

令和7年4月18日

日本学術振興会協力会 御中

R031 委員会

### 令和6年度 事業実施報告書

このことについて、下記のとおり事業を行いましたので報告をいたします。

#### 【実施した事業内容】

R031 委員会（ハイブリッド量子ナノ技術委員会）は、ナノ物理、ナノ材料科学、デバイス物理などに立脚して、量子技術のフロンティアを開拓するとともに、その知見を広く産業界・社会に展開し、新しい科学分野や応用分野を開拓すべく、様々なバックグラウンドを持つ産官学の研究者・技術者が検討する委員会である。

令和6年度は、毎回、講師5名前後に講演をお願いし、以下の研究会議を開催した。また会議は、コロナの影響や遠隔地の委員への利便性を考慮し、ハイブリッド開催を基本とした。

・第16回研究会「ペロブスカイト材料・有機半導体材料・有機-無機ハイブリッド材料の最前線 -基礎物性・社会実装・将来展望-」大阪工業大学（ハイブリッド開催）令和6年5月22日（26名参加）

・第17回研究会「ハイブリッド量子ナノ材料科学の最前線：2次元材料と量子情報技術」東京大学生産技術研究所（ハイブリッド開催）令和6年8月9日（43名参加）

・第18回研究会「バイオ分野におけるAI応用の最前線」東京大学生産技術研究所（ハイブリッド開催）令和6年11月1日（36名参加）

・第19回研究会「表面弾性波デバイスの最前線」東京大学生産技術研究所（ハイブリッド開催）令和6年12月17日（37名参加）

・第20回研究会「理化学研究所見学」理化学研究所 令和7年2月27日（15名参加）

また毎回、研究会に先立ち、R031委員会運営に関する連絡会も開催した。